

令和2年度白鳥ふたば保育園事業報告

事業計画を踏まえて重点的に行ったこと

1. 従来までの「全体的な計画」を見直し新たに策定した。

0歳児から就学前までの各年齢の発達を養護と教育に分け、幼児期終了までに育てほしい10の姿を明記し、就学を見通した継続性のある保育を展開できるようにした。

2. 新型コロナウイルス感染予防対策として臨時休園の期間があったが、マニュアルを見直し環境を整え感染対策を強化してきた。
3. 働きやすい職場環境作りのために、事務所拡張工事・本棚、収納棚を購入した。

今年度新たに取り組んだこと

1. 保護者参加の行事（保育参加・運動会・えんにちなど）が中止になったが、取り組み方を工夫し、ICTを活用して子どもの遊びや生活の様子を動画や写真・手紙などできめ細やかに配信した。中止となった懇談会と個人面談の代わりに、園だよりを活用して子育ての悩みや解決法などを共有してきた。
2. 新型コロナウイルスの感染対策の業務負担として、危険手当の支給を行った。

課題

1. 集団保育や長時間保育の自粛傾向があり、一時保育と延長保育の利用者が減少した。

<研修・人材育成>

1. 外部への研修やキャリアアップ研修が中止となるが多かった。今後はZoomでの研修を、積極的に取り入れていくようにする。
 - ・職場内で、課題や事例に基づいた様々な研修や訓練などを実施してきた。